

令和 5 年 5 月 31 日現在

機関番号：82512

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2022

課題番号：16K17129

研究課題名（和文）対内直接投資がインフォーマル企業の成長に与える効果：カンボジアの事例

研究課題名（英文）The Impact of Inward Foreign Direct Investment on the Growth of Informal Firms:
The Case of Cambodia

研究代表者

田中 清泰 (TANAKA, Kiyoyasu)

独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・開発研究センター 経済統合研究グループ・研究員

研究者番号：30581368

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、カンボジアにおける企業・税務登録のないインフォーマル企業に着目して、フォーマル企業とインフォーマル企業の企業データを構築し、様々な実証分析を行った。分析の結果、正式な事業所登録によってインフォーマル企業の売上や付加価値は大きく向上していることが明らかになった。また、産業の集積効果を推計した結果、産業集積はフォーマル企業の生産性には影響を与えていないが、産業集積はインフォーマル企業の生産性を向上する効果をもつことが分かった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

発展途上国において、企業・税務登録のないインフォーマル企業は、経済活動の大部分を占めており、貧困層に対して大きな雇用機会を生み出している。経済発展のためには、外資企業や地場のフォーマル企業が成長して、インフォーマル企業の労働者に対して、新たな雇用機会を生み出す必要がある。本研究は、こうしたメカニズムに対して、カンボジア企業データに基づくエビデンスを提示して、インフォーマルセクターに対する開発政策の指針形成に資する。

研究成果の概要（英文）：In this study, we focused on informal enterprises without corporate and tax registration in Cambodia and constructed corporate data on formal and informal enterprises for various empirical analyses. The results shows that formal registration promotes sales and value added for informal firms. The estimation of industrial agglomeration economies shows that industrial agglomeration had little impact on the productivity of formal firms, whereas industrial agglomeration had a positive impact on the productivity of informal firms.

研究分野：国際経済学

キーワード：インフォーマルセクター フォーマルセクター 外資企業 ミクロ実証 カンボジア 企業登録 国際貿易

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

発展途上国において、企業・税務登録のないインフォーマル企業は、経済活動の大部分を占めており、貧困層に対して大きな雇用機会を生み出している。経済発展のためには、外資企業や地場のフォーマル企業が成長して、インフォーマル企業の労働者に対して、新たな雇用機会を生み出す必要がある。生産性の低いインフォーマル企業から、生産性の高い外資企業やフォーマル企業の成長に雇用が移動することで、経済成長が進展する。

地場企業の育成が困難な発展途上国の多くは、外国資本による直接投資を自由化して、外資企業を積極的に誘致している。期待される政策効果には、投資による資本の流入、先端的な生産技術や経営ノウハウの移転、そして、新たな雇用の創出がある。一方、外資企業の進出は、国際競争力を十分に持たない未熟な地場企業の健全な発展を、阻害する可能性がある。そのため、外資企業は地場企業に対してどのような経済的影響を及ぼしているのか、様々な国や産業において検証されてきた。

外資企業の効果を推定した既存の実証分析では、政府に企業・税務登録しているフォーマル企業のデータを利用しているため、外資企業の影響の評価はフォーマル企業に限定されている。一方、途上国のインフォーマル企業のデータは十分に整備されていない。そのため、インフォーマル企業の企業データを活用して、外資企業の進出がインフォーマル企業に対して与える影響を検証した研究はほとんど見られない。

2. 研究の目的

本研究は、カンボジアの企業パネルデータを構築して、外資企業による対内直接投資が、投資受入れ国におけるインフォーマル企業の成長に与える効果を検証する。はじめに、(1)カンボジアにおけるインフォーマル企業の実態調査を行う。次に、(2)企業パネルデータからインフォーマル企業の参入、撤退、成長を分析する。最後に、(3)外資企業がインフォーマル企業の成長に与える効果を検証する。外資企業の進出が発展途上国のインフォーマルセクターに与える効果を評価して、経済開発の政策に対する指針形成を目指す。

3. 研究の方法

外資企業とインフォーマル企業の複雑な関係を検証するために、インフォーマル企業の実態調査から始める。次に、インフォーマル企業の参入・撤退や成長のダイナミクスを、企業パネルデータを使い検証して、外資企業がインフォーマル企業に与える様々な経路を検討した。

カンボジアにおけるインフォーマル企業の実態を明らかにするため、企業登録または税務登録のある企業をフォーマル企業と定義する。一方、企業登録または税務登録のない企業をインフォーマル企業と定義する。しかし、企業登録のない事業所が営業許可書を保有するケースもあり、インフォーマル企業の適切な定義は産業によって異なる可能性がある。カンボジアにおいてどのような事業所・企業をインフォーマル活動の対象とすべきなのか、現地インタビュー調査によって検討した。

次に、インフォーマル企業の参入・撤退および成長をパネルデータにより明らかにする。カンボジア企業調査のマイクロデータを接続して、フォーマル企業・インフォーマル企業・外資企業を含んだ企業パネルデータを構築する。この企業パネルデータを活用して、インフォーマル企業の特徴や規模の変化、インフォーマル企業のフォーマル化などを数量的に明らかにした。

4. 研究成果

カンボジアにおける外資企業をはじめとするフォーマルセクターとインフォーマルセクターの関係性を分析した。産業の集積効果を推計した結果、産業集積はフォーマル企業の生産性には影響を与えていないが、産業集積はインフォーマル企業の生産性を向上する効果をもつことが分かった。また、生産性の空間的な依存関係は、フォーマル企業では見られなかったが、インフォーマル企業の生産性は、空間的にプラスの関係を持つことが分かった。この研究成果は、*Journal of Economic Geography* で出版された。

カンボジア企業のパネルデータを活用して、フォーマルな事業所登録がインフォーマル企業の生産性に与えた効果を実証した。分析の結果、正式な事業所登録によってインフォーマル企業の売上は161%、付加価値は151%も向上したことが分かった。一方、事業登録をした自営業者には大きな変化は見られなかった。また、労働生産性にはどのような企業形態であっても大きな変化はなかった。事業登録の効果が生まれる経路を検証した結果、購買費用が大きく増加していることが分かった。カンボジアでは付加価値税のシステムが採用されており、事業登録を持つ企業と取引して付加価値税を相殺するために、インフォーマル企業は事業登録を行った後に売上が増えている、と解釈できる。事業所登録を分析した先行研究は、標本調査の対象が限定的であることが多く、本研究は母集団を対象とした包括的なデータを活用して、新しいエビデンスを示している。この研究成果は、*Asian Development Review* で出版された。

カンボジアの縫製産業において多くの外資企業が、輸出市場に向けて縫製品を生産している。

近年は特に EU 向けの縫製品輸出が急増しており、EU が低所得国向けに提供している特惠貿易制度の原産地規則の緩和が、大きな要因として考えられる。2010 年 12 月に EU はこの原産地規則を緩和することを公表して、2011 年 1 月から新しい原産地規則が施行された。特に重要な変化は、縫製品の生産工程に関する要件が、途上国における布の生産を免除した点である。カンボジアでは繊維産業が未発達で、縫製品の生産には繊維製品の輸入に依存している。2010 年以前の原産地規則では、輸入した繊維製品の使用に制約が多かったが、この要件が緩和されたことで、カンボジアの EU 向け縫製輸出が急増していることを実証した。この研究成果は、The World Economy で出版された。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計20件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 13件）

1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka	4. 巻 40
2. 論文標題 Formal Registration and Informal Firms in Cambodia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asian Development Review	6. 最初と最後の頁 151, 176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka	4. 巻 45
2. 論文標題 The European Union's withdrawal of trade preferences for Cambodia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 3398, 3419
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.13329	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka, Toshihiro Kudo	4. 巻 39
2. 論文標題 Democratic Reforms and Trade: Evidence from the European Union's Generalized System of Preferences for Myanmar	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Southeast Asian Economies	6. 最初と最後の頁 148 ~ 170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1355/ae39-2c	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka	4. 巻 44
2. 論文標題 The European Union's reform in rules of origin and international trade: Evidence from Cambodia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 3025, 3050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.13108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka	4. 巻 -
2. 論文標題 The European Union's safeguard for rice imports from Cambodia and Myanmar	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Developing Economies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/deve.12366	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka and Yoshihiro Hashiguchi	4. 巻 20 (1)
2. 論文標題 Agglomeration economies in the formal and informal sectors: a Bayesian spatial approach	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economic Geography	6. 最初と最後の頁 37, 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jeg/lby069	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka	4. 巻 27 (5)
2. 論文標題 Do international flights promote FDI? the role of face-to-face communication	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Review of international economics	6. 最初と最後の頁 1609, 1632
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/roie.12437	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka	4. 巻 -
2. 論文標題 Trade and productivity in formal and informal firms: panel data evidence from Cambodia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IDE Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka and Theresa M. Greaney	4. 巻 -
2. 論文標題 Trade and employment in the formal and informal sectors: a natural experiment from Cambodia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IDE Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiyoyasu Tanaka	4. 巻 36
2. 論文標題 Assessing the Effects of U.S. Trade Policies on the Garment Industry in Cambodia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Thailand and the World Economy	6. 最初と最後の頁 47, 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中清泰	4. 巻 264
2. 論文標題 カンボジアに産業集積の経済効果はあるのか? インフォーマルセクターの影響	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア研ワールドトレンド	6. 最初と最後の頁 26, 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中清泰	4. 巻 263
2. 論文標題 シアヌークビルって一体どこですか?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア研ワールドトレンド	6. 最初と最後の頁 24, 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中清泰	4. 巻 12月号
2. 論文標題 企業登録のオンライン化はカンボジアで成功するか?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アジ研ワールドトレンド	6. 最初と最後の頁 46、49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件(うち招待講演 1件/うち国際学会 1件)

1. 発表者名 田中清泰
2. 発表標題 Re-instating the European Union's generalized system of preferences for Myanmar
3. 学会等名 日本国際経済学会第10回春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田中清泰
2. 発表標題 The European Union's withdrawal of trade preferences for Cambodia
3. 学会等名 日本国際経済学会第80回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田中清泰
2. 発表標題 Trade and employment in the formal and informal sectors: a natural experiment from Cambodia
3. 学会等名 日本国際経済学会第79回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中清泰
2. 発表標題 The EU's reform in rules of origin and international trade: evidence from Cambodia
3. 学会等名 日本国際経済学会全国大会第78回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshihiro Hashiguchi
2. 発表標題 Agglomeration economies in the formal and informal sectors: a Bayesian spatial approach
3. 学会等名 IDE Summer School (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiyoyasu Tanaka
2. 発表標題 The EU's reform in rules of origin and international trade: evidence from Cambodia
3. 学会等名 The 1st Hawaii-Hitotsubashi-Keio Workshop on International Economics
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中清泰
2. 発表標題 Agglomeration Economies in the Formal and Informal Sectors: A Bayesian Spatial Approach
3. 学会等名 The XI World Conference of the Spatial Econometrics Association (SEA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中清泰
2. 発表標題 Face-to-face communication and FDI
3. 学会等名 East Asian Economic Integration: New Perspectives on Trade, Investment, and Development
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------